ふくしま
電友会だより

電友会
NTTグループOB・OGの会
福島地区電友会事務局
TeL・Fax 024-531-7421

第 51 号
令和2年1月1日

謹賀新年

年頭にあたって

福島地区電友会
会長　斉藤　政夫

新元号の「令和」の時代となって初めての正月を 迎えまして、会員の皆様、そしてご家族の皆様のご多幸を心よりお祈り申し上げます。

振り返りまして、平成の時代は、東日本大震災を始めとして、全国至る所で地震、集中豪雨等が数多く発生したことから、非常に困難な時代であったように思います。

「令和」の時代を迎えて、災害がなく、安全、安心な時代であってほしいと切望しておりますが、災害発生の要因となる地球温暖化の原因を創造している人間の身勝手な願いを自然は容易には叶えてはくれません。

昨年の１０月に上陸した台風１９号により、福島県に於いても中通り、浜通りを中心に大きな被害を受けました。

台風による県内の犠牲者は、残念ながら最終的に３３名にもなったそうですが、驚いたことに犠牲者の７０％超の方々が、６０才以上ので，更にその中でも、５０％超の方々が自宅に待機していて犠牲になってしまい、その全ての方が６５才以上の高齢者であったそうです。

災害発生時における避難等の判断、行動は、普段からの地域の連携及び個々人の心構えにより差が出るのであろうと思いますが、昭和６１年に発生した「８．５水害」を教訓として、高齢者の避難等を優先的に取り組んだ自治会等では、最悪の事態の回避につながったそうですが、逆に「８．５水害」で大きな被害を受けなかった地域に於いては、過去の経験、知見から、「まさか・だろう」の判断が先行したため、結果的に避難等が遅れて、最悪の事態となってしまった地域が多々あったそうです。

いずれにしても、常日頃から、緊急持ち出し及び防災グッツの点検、自治体で発行している避難場所とハザードマップ等をしっかりと確認しておくことが肝要かと思います。

次に明るい話題に移りますが、ご存知の通り、電友会本部では、毎年、地域のボランティア活動及び社会貢献活動に参画して頑張っている会員及びグループ等に対して、ボランティア活動賞を授与しておりますが、昨年の１１月には、福島地区電友会の「食用廃油回収グループ」が栄えある賞を受賞致しました。

この活動は平成２１年にスタートして早くも１０年になりますが、具体的には、会員の皆さんの各家庭及び市内の一般飲食店等から排出される食用廃油を回収して、二本松市のバイオディーゼル燃料化事業を営む知的障がい者支援施設「菊の里」に運搬後、最終的には、バイオディーゼル燃料として、福島市内を走る公共のバス燃料として活用して、地球温暖化防止事業の一助となっているものです。

社会貢献活動は、電友会活動の基本方針の一つでもあります、今後共発展的に継続して行くために、会員の皆様の更なるご協力をお願いしまして、新年のご挨拶と致します。

「年頭のご挨拶」

ＮＴＴ東日本　　理事
福島支店長　山貫　昭子

新年**あけましておめでとうございます。**

福島地区電友会の皆様には、日頃よりNTTグループの事業運営に格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年は台風19号とその後の大雨により、福島県内でも多大な被害が発生しました。被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。
台風19号は福島エリアの通信サービスにも大きな影響を与え、ＮＴＴビルのバッテリー枯渇や浸水、ケーブルの破断、お客様宅内機器水没等により、サービス中断や多くの故障が発生しました。NTT福島グループでは、全国からの支援をいただきながら、設備・営業、グループ会社・協力会社等が総力で復旧とお客様対応にあたり、想定以上のスピードで回復を果たすことができました。福島グループが積み重ね、磨き上げてきた「つなぐ力」の強さを実感するとともに、諸先輩の長きにわたるご尽力にあらためて感謝申し上げます。

昨年7月1日、ＮＴＴ東日本は発足20年という節目を迎えました。また、同じく昨年７月に東日本の光回線が1200万契約を突破しました。「通信をつなぎ続ける」という基本のミッションは変わらずありつつ、この20年の間にICTの技術も市場環境も大きく変化し、事業の内容も変わっています。
県内でも、Ｗｉ-Ｆｉ・クラウド・サポートに加え、ＩｏＴ・ＡＩ・ＲＰＡなど最先端サービスのご利用も増えてきています。今後も「地域とともに歩むＩＣＴソリューション企業」としてＩＣＴとグループの総合力で地域の課題を解決し、地域活性化に貢献できるよう取り組みを進めてまいりますので、皆様の一層のお力添えをよろしくお願い申し上げます。

さて、いよいよ今年、東京2020オリンピック・パラリンピックが開催されます。3月26日にJヴィレッジからスタートするオリンピック聖火リレーを皮切りに、開会後は野球、ソフトボール競技が福島市で実施されます。ＮＴＴ福島グループも、大会を支える通信サービスをしっかり提供しながら、地域の皆様とともに盛り上げてまいります。聖火リレーは3日間にわたり福島県内を巡り、毎日の到着地点ではイベントも開催されますので、電友会の皆様にもぜひ沿道や会場に足をお運びいただき、応援し、楽しんでいただきたいと思います。

結びに、福島地区電友会の益々のご発展と会員の皆様のご健康・ご多幸を心より祈念申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。

子年生まれの方々の抱負

（掲載順不同）

■武田　昌三　さん（１９２４年生れ）

明けましておめでとうございます。皆様お変わりも無く、令和の新年を迎えられたことをお慶び申し上げます。振り返ってみれば、私にとって八回目の子年に当たり、年男が回って来たが、馬齢をむさぼったものの、実りある思い出も少なく、只、体の動きが鈍くなり、医者との付き合いが出来た事位で、これからの人生は、付録のようなものであろうけれども、少しは大事にあつかって、健康を保持し皆様とのお付き合いが出来ればと思っております。

■阿部　孝一さん（１９４８年生れ）

６回目の俺の子年を迎え、ファシリティーズ様を退職して１９年目です。第２の人生も早く年の過ぎるのを忘れています。今は庭木の剪定又草刈り及び食べるキューリ・トマト・ナス栽培、健康の為、ゴルフとジム通い、晩酌の生活が此の頃です。今年から電友会ゴルフ部会で事務手伝いをします。大きな病気も無く６０代の気持ちで働き、気づいて見ると体が痛い老体に成っています。人生４コーナーを今まで通り健康第一で生きて行きたい思いです。皆様方も御元気で！です。

■伊藤　和以さん（１９３６年生れ）

明けましておめでとうございます。事務局から原稿の依頼があり、初めて自分の年齢が、七回目の「子年」で八十四歳の年輪を重ねたとは、感慨無量です。過ぎ去った年月を振り返ってみると、喜怒哀楽の人生だったと思う。今後は、体調の維持管理が主たる生活になるでしょう。五臓六腑のメンテナンス、足腰痛との戦いが思いやられます。現在は寿会とお寺の役員をしています。人の情けに掴りながら、穏やかに楽しく今後を過ごして行きたいと思ってます。最後に皆々様のご多幸とご健勝をお祈り致します。

■伊藤　鉄次さん（１９３６年生れ）

この年齢まで労働組合役員、退職者の会役員として、皆さんに支えられて過ごしてきました。感謝の気持ちで一杯です。人生１００年の時代と言われていますが、これからも皆さんに支えられながら、明るく、楽しく、元気よく、人生を過ごしたいと思います。

■伊藤　千治さん（１９３６年生れ）

人生わずか５０年時代の昭和３３年１２月に本宮電報電話局に採用され、４２年間勤務し退職しました。当時は体調も良くなかったが、欠勤もなく頑張りました。今年は７回目の年男で、８４歳となります。退職後、脳梗塞を患って右手足に麻痺が残り、不自由な生活をしています。妻も２年遅れて脳梗塞となって老老介護となってしまいました。私は自動車の運転は、短距離だけとなりました。今年は第７回目の年男だそうですが、今までに２回の臨死体験をしています。１昨年から沖高介護施設で脳トレーニングをしていますが、脳年齢は４０歳から５０歳だそうで、少しだけ安心材料となっております。皆様、良いお年をお迎えください。

■尾形　忠次さん（１９３６年生れ）

新年明けましておめでとうございます。原稿の依頼があって、七度目の年男がもう私にも到着したんだナア！と年齢を感じさせられ、改めて自分の年齢を記した時、「八十四歳」になったんだと思いつつ、残りの生き方は、常々近所付合いで、向う三軒両隣のお付き合いが、最大「仕事」であると考えており、先ず向う三軒両隣から地域の町内会、そして隣の町内会愛と数は少なくともいい。お茶菓子、漬物等持ち寄り「お茶会」、そんな時自作の茶碗で楽しく時を過す等、ある時は自然災害、風、水、火、交通災害等の対策等危険が伴う場合の対策話し等を話題にし、勉強会的なお茶会を少しずつ実施中です。今後ともよろしくお願いいたします。

子年生まれの方々の抱負

（掲載順不同）

■五十嵐 進さん（１９４８年生れ）

明けましておめでとうございます。今年六回目の年男を迎える事となりました。これまで大病、大ケガも無く過ごしてこれたのは、丈夫に産んでくれた親と、日々健康に気遣ってくれる妻のお陰と感謝しております。昨今は、下手なゴルフと磯釣り、たまに蕎麦打ちの練習と、ストレスの無い日々を過ごしております。これからも皆様との交流を深めながら、次なる関門、七回目の年男を目指し、日課のウォーキング等、健康第一に精進していきたいと思います。

■柴田　大三郎さん（１９４８年生れ）

新年明けましておめでとうございます。皆様方の暖かいご指導により７０代の年男を迎えることができ、こんなに嬉しいことはありません。また、今 年は潤の年・オリンピックの年、なにか得をした思いです。今年の抱負は「健康維持」、命より健康が第一、日常的な散歩・適度な運動の継続です。この１年小さな庭の花壇いじり、我家のマイムービー作りで過ごします。

■須藤 盛夫さん（１９４８年生れ）

新年おめでとうございます。大黒天のお使いの子歳生まれの年男です。物集めが好きで、時計、カメラ、万年筆、古銭、大正時代の氷コップ等を収集しています。ライフル射撃競技を４０年近く継続して、段位は計八段となり、生涯スポーツとして取り組んでいます。本年は、１月末の八幡平市での東日本バイアスロン大会の審判からスタートです。そばを楽しむ会とカラオケ倶楽部に所属しています。皆さんと交流を通じて、日々楽しく過ごして行きたいと思います。

■栗原 昭夫さん（１９４８年生れ）

生を受けて６回目の年男を迎える、昔であれば長生きの領域でもあるが、今は、「７０歳まで働け、それから年金生活を送れ」という時代にかわりつつある。
年男を振り返ると、１回目は中学生でカラーテレビの本放送が始まり、よく他人の家に上がり込みプロレスを見ていました。２回目は二本松電報電話局でクレオソート電柱を顔を赤くしながら建てた想い出。３回目は飯坂電報電話局の若い工事係長、飯坂温泉も賑わっていました。４回目は福島支店設備サービス課長で、昼夜設備のトラブルで気の休まる日も無く動き回っていました。
５回目はＮＴＴを退職後、グループ会社にお世話になり、今は一度やめたグループ会社から声がかかり、今年もＮＴＴ設備に係る仕事が続きそうです。新年の抱負は「健全な精神は、健全な肉体に宿る」、健康面に気を付けボケずに最低残り２回の年男を目指す。

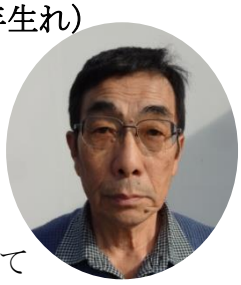
■柴田 哲さん（１９４８年生れ）

新年明けましておめでとうございます。電々公社からＮＴＴへと３４年間務めさせていただき、退職して早いもので１６年経過しました。その間両親の介護を１４年間、福島と山形を往復して、父９７歳、母９４歳を看取ることができて大変良かったと思います。現在は「なんでもや」でサービス業をやっていますが、健康第一に無理しない程度で頑張っています。これからは、趣味（切手、古銭、古い物等）の収集をやったり、旅行しながら、日々を過ごしていけたらいいなと考えています。また、今年は東京オリンピックも楽しみにしています。最後に皆様のご多幸とご健康をお祈りします。

子年生まれの方々の抱負

（掲載順不同）

■横山　裕次さん（１９４８年生れ）



　また、新しい年がやって来ちゃいました。昨年、高齢者講習なるものを受け薄々は感じていたものの眼の衰えを数値で理解しました。そして、昨年暮、退職後二期六年やってきた民生委員を卒業しました。こんな出だしで始まれば「新年の抱負」というテーマでなく「老人のつぶやき」となるかといささか心配の皆さぁん私は元気です。朝のウォーキングは傘をさしてでもほぼ毎日行ってますし、休耕田の草刈り、家庭菜園等、色白になる暇がありません。私にとって区切りの良い子年に「空白の増えた予定表」は良いチャンスと思ってます。今まで描いていて出来なかった「東海道４９２㎞を歩く」ことをあまり気負わずに進めてみたいと思っています。爽やかな五月の風を受け、右に富士山を仰ぎ駿河湾沿いを歩く姿が目に浮かびます。

■吉田　喜美さん（１９４８年生れ）

　新年明けましておめでとうございます。六度目の年男を迎える事になりました。昨年は二人目の孫も生まれ、今年はまた賑やかになりそうです。私も大病を患うこともなく過ごしてこられたことは、家族をはじめ皆様のお陰によるところと、大変感謝しています。仕事はしておりませんので趣味に興じております。蕎麦の会、カラオケ、パークゴルフとパチンコ等適度に楽しんでいます。趣味も健康でなければ出来ませんので運動も健康維持の為、軽い運動を楽しみながら行っていきたいと考えているところです。電友会の皆様、今後ともよろしくお願い致します。

《その他の年男の皆さん》

［1936年生］
　　佐藤　新一さん　保田　實さん
［1948年生］
　　我妻　均さん　　阿部　義則さん
　　高橋　幸雄さん　丹治　貞夫さん
　　東谷　幸隆

新 入 会 員 紹 介

「前号（Ｒ１．８．１）　以降に入会された方」

3名の方が入会されました

■角田　年弘さん

■菅野　裕行さん

■齋藤　孝弘さん（準会員）

訃 報 情 報

「前号（Ｒ１．８．１）以降に亡くなった方」

■ご冥福をお祈りします

○矢吹　重太郎　様
　（令和１年９月７日　享年９５歳）
○菅野　正夫　様
　（令和１年１０月８日　享年９２歳）
○石川　亨　様
　（令和１年１１月１０日　享年８９歳）
○齋藤　源一　様
　（令和１年１２月５日　享年８０歳）

趣味のコーナー

【絵画】半澤　幸一さん

「絵を描いて８０年」

私が生まれたのは昭和５年４月、現在の福島市飯坂町です。８９歳になりました。一生の思い出は昭和２３年に行われた第３回国体に福島県代表でバレーボール選手として出場したことです。

絵を描くきっかけは小学生の時、展覧会へ出したことでした。

その当時、招集令状で多くの国民が兵隊さんとして赤紙1枚で戦地へむかいました。

私の従兄弟３人にも赤紙が来て、元気に帰ってくることを願い各地で千人針が国防婦人により作られました。

虎の絵を描いて千人針が作られ、その虎の絵を１２歳の私が描きました。

その結果、従兄弟は３人とも無事帰還することができました。

二本松の旅芸人清水朝子の着物の裾に絵を頼まれて竹の葉などを描き大変喜ばれたものです。

そのこともあって絵を描くことに自信をもてるようになりました。

掛け軸を描くようになったのは中学生の頃からです。

その後、１０数本を作成し現在でも大事に保管されています。終戦後の昭和２５年に今のＮＴＴに採用され各地を転々しました。
仕事をしながら休みの日などに掛け軸作りですので、一本完成するのに相当時間がかかりました。私は絵を習ったことは一度もなく、全て自己流です。

平成２６年からは妻が病院へ入院したため、毎日病院通いをして、妻を励ましてきましたが、今春に亡くなりました。

妻の似顔絵を毎年描いてきましたが、年々表情が変わっていく様が絵にでています。

現在は２人の曾孫を描くのが私の楽しみです。

サークルだより（1／3）

サークル入会勧奨

サークル名	ITサークル悠々クラブ		
会員数	23名	会長名	小笠原生雄
サークルの紹介 （会のモットー・ 目標・目指すもの等）	会員相互のITスキルの向上と、ITスキルを活用しての社会貢献		
活動状況・入会特典・申込先			
○例　会（定期）	毎月第三木曜日		
○イベント・交流会等 （本年度）			
★入会特典	PC動作環境の支援 PC購入の伴う相談受付・支援		
○その他 （アピールしたいことがあれば）	Windows7の保証期間終了に伴う、乗り換え支援 IT世界への挑戦への手助け、 目の不自由の人へのPCのよる音声翻訳への取り組み		
入会申込先	電話：０８０－１８１５－６０１１		担当者名：三森　陸美

サークル名	しのぶ囲碁クラブ		
会員数	令和元年9月末；　18名	会長名	山田　昌義
サークルの紹介 （会のモットー・ 目標・目指すもの等）	囲碁を通じて仲間との交流、脳の活性化を図ります。		
活動状況・入会特典・申込先			
○例　会（定期）	毎月第二水曜日　例会(練習）又は大会 （例会は、参加費1,000円を徴収し、賞品や弁当に使用しています。）		
○イベント・交流会等 （本年度）	支部交流会(いわき、郡山、福島） 南三県大会（福島、宮城、山形）		
★入会特典	囲碁対戦ソフトで対戦できます。 年会費はありません。		
○その他（アピールしたいことがあれば）	囲碁だけでなく将棋等を対局人も大歓迎です。 初心者でも大歓迎です。		
入会申込先 問合せ先	電話：　090－8780－7833		担当者名：松浦　宏光

サークル名	しのぶゴルフ倶楽部		
会員数	令和元年9月末；43名	会長名	太田岩夫
サークルの紹介 （会のモットー・ 目標・目指すもの等）	会員相互の趣味であるゴルフを通じて健康増進と会員相互の融和と親睦並びに技術力向上を図ります。　モットーは「明るく・楽しく・元気よく・安全に」思いっきりプレーを！とても楽しいサークルです。		
活動状況・入会特典・申込先			
○例　会（定期）	・毎月一回のコンペを開催します（但し冬季間の12月1月2月の三回は開催しない）・福島近郊のゴルフ場4ヶ所で開催しています。		
○イベント・交流会等 （本年度）	・福島地区電友会以外の会員の参加者も含め開催している。 ・南三県交流コンペを7月に開催・10名のメンバーが参加しています。 ・サークルの累計コンペ開催回数は220回を超え年度末で221回となる		
★入会特典	・お試し体験は、いつでも・どのコンペでも参加費のみでプレーできます。		
○その他 （アピールしたいことがあれば）	・賞品等は、主に商品券を中心にご家族も喜べます。優勝から5位と他にブービー賞・飛び賞・ラッキー賞・年間皆勤賞等チャンスは誰にでもあります。		
入会申込先 問合せ先	電話：事務局090－7078－2459		担当者名：総務担当　北見

サークルだより（2／3）

サークル入会勧奨

サークル名	麻雀サークル		
会員数	令和元年11月末；17名	会長名	井上　健一
サークルの紹介 （会のモットー・目標・目指すもの等）	・麻雀ゲームを通じて会員相互の親睦会と融和を図っています。 （ゲームは手を使い動かし、点数を計算するなど、ボケ防止の効果も有ります。）		
活動状況・入会特典・申込先			
○例　会（定期）	・年4回（土曜日）山下ビル「OBサロン」で開催 （例会は、参加費1，500円を徴収し、優勝者などへの賞品を進呈。）		
○イベント・交流会等（本年度）	・世話役が増えて、準備等が分担出来れば、例会の回数も増やせる？ また、イベントや交流会も開催出来る様になります。		
★入会特典	・例会は、3卓を目標に参加者を増やしたいので、お試し参加等も検討したい。		
○その他 （アピールしたいことがあれば）	・会員が高齢化しているので、若返りに向け準会員を含む会員の拡大。 ・女性会員（家族会員を含む）の拡大。		
入会申込先 問合せ先	電話：080−1859−7277		担当者名：　八巻　俊一

サークル名	電友会福島パークゴルフ倶楽部		
会員数	令和元年9月末；　21	会長名	伊藤　滋見
サークルの紹介 （会のモットー・目標・目指すもの等）	パークゴルフは、誰でも気軽に芝生の上で太陽の光をいっぱいに受けながらボールを打つ、楽しく遊べる簡単で無理のない健康的なスポーツです。　サークルではこのスポーツを通して体力の維持向上と会員相互の親睦を目指しております。		
活動状況・入会特典・申込先			
○例　会（定期）	・例会は、猛暑の8月・酷寒の1～2月を除く毎月第一木曜日に開催。 例会場は、福島市パークゴルフ場や相馬光陽パークゴルフ場等を使用。		
○イベント・交流会等（本年度）	・県内三地区(福島・南相馬・相馬)との交流会（年一回・秋） 今年は、10月30日に相馬光陽パークゴルフ場を会場に「43名」が参加して開催。＜幹事は相馬地区＞		
★入会特典	・サークルの年会費(1,000円)　⇒　年度途中の入会は年会費無料。 ・お試し無料体験あり。（相談の上、随時開催します）		
○その他 （アピールしたいことがあれば）	・服装等に特に厳格な取り決めはなく、クラブ一本とボールがあれば即プレー可能です。　但し、靴はスニーカーを着用します。 ・興味のある方は、是非お知らせ願います。		
入会申込先 問合せ先	電話：　024－557－8076		担当者名：　高橋　徹

サークル名	電友福島カラオケクラブ		
会員数	令和元年9月末；15名	会長名	森口　善一
サークルの紹介 （会のモットー・目標・目指すもの等）	会員の趣味であるカラオケを通じ、会員相互の親睦と融和、そして健康増進を図ることを目的とする。		
活動状況・入会特典・申込先			
○例　会（定期）	・年12回、歌の練習と発表会の実施 ・毎月第三月曜日　　16：00～		
○イベント・交流会等（本年度）	・偶数月---スナックで練習 ・奇数月---カラオケボックスで練習 ・8月、2月成果発表会		
★入会特典	・お試し参加（年会費は無料）		
○その他 （アピールしたいことがあれば）	・女性会員を大募集　（女性会員現在：1名） ・家族会員も大募集		
入会申込先 問合せ先	電話：090－7078－8867		担当者名：古川　純三

サークルだより（3／3）

サークル入会勧奨

サークル名	そばを楽しむ会		
会員数	令和元年9月末；29名	会長名	伊　藤　鉄　次
サークルの紹介（会のモットー・目標・目指すもの等）	食の趣味である「そば」を通じて、そばの打ち方・切り方・ゆで方等を覚え、家族サービスの一助とするともに、旧知の仲間との親睦と融和・自己の健康増進を図ることを目的としています。		
活動状況・入会特典・申込先			
○例　会（定期）	原則 毎月第一水曜日(正午から) ・地域の集会所等を借用しています。 ＊幹事が開催の都度、会員の携帯へメールで周知します。		
○イベント・交流会等（本年度）			
★入会特典	年度途中の入会(10月以降)は、年会費(1,000円)を免除します。 ＊別途注文により、家庭への持ち帰りも可能です。		
○その他（アピールしたいことがあれば）	①毎月の例会は和気あいあいの雰囲気で楽しんでいます。 ②毎年新そばの時期は、北海道産のそばを楽しめます。 ③そばの切り方・ゆで方は、ほぼ全員が習得できました。		
入会申込先	電話：080－1697－1852		会　長：伊藤　鉄次

サークル名	福島地区電友会　ボウリングクラブ		
会員数	令和元年11月末；26名	会長名	末永　秀昭
サークルの紹介（会のモットー・目標・目指すもの等）	ボウリングを通じて会員相互の親睦会と融和、健康増進を図っています。		
活動状況・入会特典・申込先			
○例　会（定期）	○年金支給月15日以降の金曜日PM 予定計画は年4回以上		
○イベント・交流会等（本年度）	・例会後の懇親会（夜の飲会）を実施 ・会員で大忘年会（12月開催）		
★入会特典	・入会後からボウリング大会参加すると、ハンディ戦を通じて優勝チャンス大いにあります。		
○その他（アピールしたいことがあれば）	・お互いのスコアを気にせず、楽しくプレー出来るサークルです ・ボウリング大会後、有志で夜のコーナー（飲み会へ）		
入会申込先 問合せ先	電話：　080　－　1670－　6856		担当者名：　荒木　省一

サークル名	しのぶ里山トレッキング倶楽部		
会員数	令和元年9月末；33名	会長名	伊藤　邦子
サークルの紹介（会のモットー・目標・目指すもの等）	基本的には車で日帰り出来る山を中心に登ります。（年一回一泊二日の山行きも実施）当日の山の状況やメンバーの体力を考慮して無理せず安全を第一に楽しく登るをモットーにしています。下山後は必ず温泉で汗を流し、疲れを癒して帰ってきます。		
活動状況・入会特典・申込先			
○例　会（定期）	月一回　毎月第三金曜日（状況により変更も有り）		
○イベント・交流会等（本年度）	里山の山開き（口太山）に参加。大人の休日倶楽部切符を利用して長野の西穂高岳に登山（7月）西吾妻山市民トレッキング（悪天候でキャンセル）暑気払い（8月）忘年会（12月）新年会（1月）皆なで楽しみます。		
★入会特典	お試し登山体験歓迎ですので是非参加して登山の雰囲気を味わって下さい。 万が一のため、倶楽部として障害保険に加入しています。		
○その他（アピールしたいことがあれば）	初心者も、登山経験者も、大歓迎です。		
入会申込先 問合せ先	電話：　080　－1697－6982		担当者：丸山秋一（山案内人）

会員の社会貢献活動

■全日本交通安全協会長表彰並びに交通栄誉章「緑十字銅章」を受賞

令和元年１０月１日、会員の渡辺正春さんが全日本交通安全協会より、自動車の運転を通し交通事故の防止と交通秩序の確立に貢献された功績により、全日本交通安全協会長表彰並びに交通栄誉章「緑十字銅章」を受賞されました。

運転中の携帯利用は罰則がとてつもなく厳しくなっています。渡辺さんは、現役中も含め毎年セーフティチャレンジに参加しています。電友会でも３人一組で参加し、取り組みをアピールしていけたら良いと思います。

■「菊の里」チャリティバザーに協力

二本松市にある、障害者支援施設「菊の里」で、毎年開催されているチャリティバザーに、今年も、会員７名から４９品の善意のチャリティ品提供がありました。早速施設にお届けし大変感謝されております。協力頂いた会員の皆さんありがとうございました。

なお、バザーは１０月２７日二本松福祉センターにおいて開催され、２１４，５０２円の収益金があったとの報告が施設からありました。

■第29回「電友会ボランティア活動賞」受賞

令和元年11月20日、ＫＫＲホテル東京において**「食用廃油回収プロジェクト」**が表彰されました。末永副会長がプロジェクト代表として出席し電友会鈴木会長より表彰されました。
（詳細は「東北会報第８６号」に掲載）

事 務 局 だ よ り

■３月まで予定の催し物等について

１．令和２年１月２３日(木)１５時から
「新春の集い新年会」
グランパークホテルエクセル
福島恵比寿

２．令和２年３月２６日(火)
１３時３０分から
「第４回役員会」
ＮＴＴ花園ビル２階 会議室

■台風１９号の被害状況について

元年10月12日から13日かけ東日本を通過した台風19号は東北地方にも大きな爪痕を残しましたが、とりわけ、福島、宮城、岩手各県に甚大な被害をもたらしました。

電友会福島地区の会員の方にも床上・床下浸水の被害に遭われた方がいらっしゃいます。心よりお見舞い申し上げます。福島県内では特にいわき地区や郡山地区においては多数の被害がでていますが、一日も早い復興をお祈りしています。

・福島地区会員の被害状況
床上浸水　１件
床下浸水　２件

☆事務局からのお詫び
「サークルだより」はサークル入会勧奨と共に、ご希望されるサークルの活動写真を掲載予定でしたが、紙面構成の都合上から掲載出来ませんでした。お詫びいたします。

これから、寒さの厳しい時期を迎えますので、健康には十分注意しましょう。